

# 長崎市こども相談センターだより 第3号

**和顔愛語**【穏やかな笑顔と思いやりのある  
（わけんあいご） 話し方で人に接すること】

令和6年9月発行



長崎市魚の町4番1号（こどもみらい課内 電話：825-1949）  
こども相談センター相談専用ダイヤル：829-1122  
Eメール [kodomosoudan\\_center@city.nagasaki.lg.jp](mailto:kodomosoudan_center@city.nagasaki.lg.jp)

**愛の一声運動**

## 東西南北のブロックごとの夏季研修会で資質向上を図る

長崎市少年補導委員協議会では、7月26日（金）の北部ブロックを皮切りに、“少年補導委員地区別研修会”を開催し、補導委員としての資質の向上を図っています。

まず、各ブロックの常任幹事が中心となり“地区別幹事会”を開催し研修会の期日や内容、講師などについて検討を行いました。

各ブロックの研修会の計画はつぎの通りです。 地区別幹事会の様子→

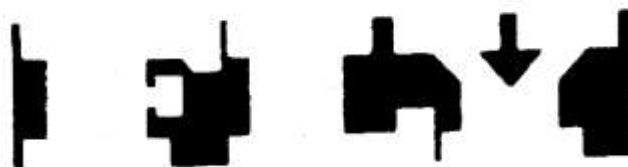
地区及び期日	研修内容
東部 【9校区】 8月20日（火）	講演「メディアとの正しい向き合い方」 講師：県メディア安全指導員 西村文男 氏
南部 【11校区】 9月27日（金）	ワークショップ ※詳細は未定
西部 【9校区】 8月3日（土）	講演「みんなの力で子どもを守ろう」 講師：県南少年サポートセンター 松江悦子 氏
北部 【7校区】 7月26日（金）	講演「思い込みと習慣から自分の行動について考える」 講師：アドベンチャーコーチング長崎 今村健吾 氏



○北部地区研修会では、コーチングプログラムで行っているメニューの中から「少年補導委員として身につけておきたい資質」について簡単な演習を交えた

講話で研修を深めました。思い込みによってものの見方や考え方が違ってくことや否定語ではなく肯定語によって相手に自分の思いを伝えることなど心理学的

問題1 何が見えますか？



←北部地区研修会資料より  
思い込みを排除して見てください

な要素も交えた講話でした。研修会の後には懇親会も行い、補導委員同士の親睦を深めることもできました。○西部地区研修会は、地区内の小中学校の教職員にも参加を呼びかけて実施しました。各校区の状況について発表を行い情報共有した後、少年非行の現状や少年サポートセンターの取組などについて講話がありました。非行の入口に立つ子どもたちへの声かけや居場所づくりなど教員、補導委員の双方に有意義な研修会でした。





# 子どもたちを取り巻く環境の浄化に向けた「社会環境実態調査」の実施

こども相談センターでは、子どもたちを取り巻く環境の浄化に向けた「社会環境実態調査」を年間を通して実施しています。特に7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」であるため、重点的に実施しました。

具体的には、①コンビニや書店などを訪問し、有害図書類の陳列状況の確認や区分陳列をお願いする、②ドラッグストアや量販店を訪問し有害がん具類の販売状況の確認や薬物過剰摂取（オーバードーズ）対策について話を聞く、③ゲームセンターやカラオケ店を訪問し、県少年保護育成条例の遵守についてお願いする、④携帯電話販売会社を訪問して、フィルタリングについての実態を把握し協力をお願いする、⑤補導報告書に記載があった公園などを訪問する、ことなどに取り組んでいます。



コンビニの訪問↑



ドラッグストアの訪問↑



公園の訪問↑

7月には、コンビニ48店舗、書店2店舗、ゲームセンター4店舗、カラオケボックス等6店舗、ドラッグストア11店舗、携帯電話販売店9店舗など約80店舗を訪問調査し、子どもたちの健全育成に協力をお願いしました。今回訪問した店舗においては、本年度の有害図書類に指定（個別・包括）されているような図書類を陳列してある店舗はないものの、類似する図書類が販売されている店舗はいくつかありました。ゲームセンターやカラオケ店には県少年保護育成条例のステッカーがきちんと掲示しており、タバコやアルコール類の自動販売機を設置してある店舗はありませんでした。ドラッグストアには、有害がん具類（性的がん具）が販売されている店舗があったもののきちんと包装してあったり、陳列をしていなかったりするなどの措置がとられていました。薬物過剰摂取（オーバードーズ）の原因となるような薬品類の販売に際しては、販売個数の制限をするなどの対策がなされていました。快くご協力いただいた店舗の皆さま、ありがとうございました。

## 夏季特別補導お疲れ様でした！

本年度の夏季特別補導もほとんどの校区で終わりました。ご協力いただいた補導委員の皆さま、暑い中、本当にお疲れ様でした。7/27に実施した『みなとまつり特別補導』には**13校区から約40名**に参加していただきました。蒸し暑かったものの天候にも恵まれ、たくさんの方が会場周辺を埋め尽くしました。現在のところ大きな事故等の報告もなく、皆さまのご協力のおかげで無事終わることができました。また、『各地域の夏祭り等』においても、会場周りの見回りや終了後の交通整理などに積極的に関わっていただいています。報告担当者（班長）は活動終了後の**特別補導報告書の提出**もよろしくお願ひします。

## おくんち特別補導

おくんち特別補導の実施要領です。  
詳細は、8月実施の幹事会で資料を配付し、説明済みです。不明の場合は各校区の幹事にご確認ください。  
実施日 **10月7日(月)** 順延の場合は**順延日に実施**  
開始時刻 **①17:30～ ②18:30～ ③19:30～**  
校区ごとに**①～③から選択し実施**する  
参加確認 **17:30～20:00**の時間帯に元船町交番横のセンター職員に参加確認を行う  
解散方法 校区ごとに**現地解散** ※解散の報告は不要  
その他 活動後は、**特別補導報告書の提出**を行う  
**活動計画提出締切は9月30日(月)**です

## 4月～7月までの声かけ状況

4～7月集計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
飲酒	0	0	0	2	2
喫煙	0	0	0	0	0
交通違反	3	0	0	4	7
服装の乱れ	0	0	0	0	0
危険な遊び	14	0	0	0	14
外出時間注意	19	22	28	0	69
買い食い	0	0	1	0	1
ゲームセンター	14	16	9	7	46
男女交際	0	4	6	0	10
『愛の一声』	1469	757	166	31	2423
合計	1519	799	210	44	2572

## センターだよりはWebページに掲載

「こども相談センターだより」はWebページから閲覧できるようになってます  
**2次元コード**から、こども相談センターのWebページを開き、下方にスクロールするとご覧になりたいセンターだよりを選択できます



《編集後記》『社会環境実態調査や白ポスト回収などの環境浄化活動』について前号と今号で紹介しました。取組を通して思うのは、子どもたちを取り巻く社会環境は変化が著しく、大人の私たちもアップデートしていかなくてはならないことがたくさんあるということです。(山鹿)